株式会社山上木工

●事業計画名／新規市場開拓へ向けた木製商品開発のための高精度・高効率複合加工機の導入

医療の高度化に伴い求められて製作した金属を使用しない木製車いす

高精度・高効率複合加工機（DMG森精機）。複雑な形状も1工程で加工が可能になった

自社ブランドのショールーム・TSKOOLには木製イス＆スツールなどが並ぶ

高精度・高品質・高効率化を複合加工機導入で実現

古くから林業、木材加工業が盛んなことで知られる網走郡津別町。この町で1950年から木材加工業を続ける株式会社山上木工。現在はNC（数値制御）工作機械による高精度な加工を必要とした木材加工を得意としている。創業以来、工作機械の正確性や生産性と職人の熟練技術をリンクさせながら実績を重ねてきた同社がより高い精度・品質・効率を求めて、複合加工機導入を推進した。

株式会社山上木工

TEL／0152-76-4934　FAX／0152-76-2540　https://yamagamimokko.co.jp/

住　所／北海道網走郡津別町字達美 147-6
代表者／山上 裕靖
資本金／300万円

設　　立／昭和56年4月（個人創業は昭和25年）
事業内容／NC特殊加工、木製建具、木製家具製作、OEM家具製作

工作機械設計の経験を生かした設備投入 加工工程の流れを大幅に短縮

同社専務の山上裕一朗氏は現社長の長男で大学卒業後、工作機械メーカー・DMG森精機株式会社（本社／名古屋）に入社。三重県で7年間ほど勤務してから津別に戻り山上木工に入社。前職で工作機械の設計などをしていた経験が、今回の複合加工機導入に役立っている。同社の高い技術力が評価されるほど、複雑で難易度の高い案件が増えてきて、現状の人員、設備では生産能力が追いつかず困難なことが少なくなかった。そこで高精度であり効率をアップさせることができる複合加工機導入が検討された。

複雑な構成から高度な技術を必要とする楽器・ハープを製作

熟練技術者でなくても高度な加工を可能に

導入されたDMG森精機の複合加工機は、同社の生産能力を大幅にアップさせた。それまで3～4工程必要だった加工を1工程で行い、また、木材以外の材料にも対応できる。大幅な作業時間短縮、高精度の3次元加工や穴あけ加工も可能となり、熟練技術者でなくても高度な加工を実現できる。

NC工作機械で削り出し加工した木製クマ（新千歳空港グルメタウン）

「OKHOTSK PRIDE」で津別から世界へ

専務取締役
山上 裕一朗氏

自社ブランドISU-WORKSのショールームとしての機能をメインに考えて廃校舎を活用したのがTSKOOLです。オホーツク（OKHOTSK）、スクール（SCHOOL）、津別町（TSUBETSU）、そしてものづくりの（つくる）をイメージして「TSKOOL」と名付けました。木の暮らしの文化の発信基地として、また当社の木製品展示・販売ショップという位置づけです。現在当社の木製品は国内約60店舗、海外2店舗で扱っていただき、今後海外でも積極的に展示販売していこうと思っています。オホーツクの会社であることもブランド価値として捉え「OKHOTSK PRIDE」というポリシーを持って、津別から世界へ私たちの技術力を発信していきたいと思っています。

＼支援機関担当者に聞く／ 北見工業技術センター

木製車いす製作をターゲットに 二人三脚で複合加工機導入

工業技術の研究開発と技術向上を図り、社会・経済への貢献を目的とした北見工業技術センター運営協会。事業支援課の課長・進藤覚弥氏は早くからNC工作機械を導入していた山上木工の技術力に注目。「医療の世界のニーズに応え木製車いす製作をターゲットに複合加工機導入を進めよう」とアドバイス。「専務の発想が地域の企業の良い刺激になっています」と進藤課長は期待を寄せている。